事業番号	15 05 08	事業改善シート(27年度実施事業分)	口予算	要求	口当初予算第	と □補正予算案	■点検	
事 業 名	学校芸術文化活動支援事業費				部局	教育委員会事務局		
				担当	課∙室	全国高等学校総	合文化祭推進室	
総合5か年 計画	プロジェクト			課	E-mail	sobunsai@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開							
	ルス・シャル ロ F J 及 内		実施期間		不明 ~	~		

・優れた文化芸術に触れる機会を通じ、豊かな感性に恵まれた生徒を育てる。 目指す姿 ・各文化部門や学校文化部の取組の充実などにより、県内生徒の更なる技能力向上を目指す。 生徒が、全国大会など高いレベルを目標にクラブ活動に取り組むことで、目的意識や向上心を育む。 現状 ・高校生の文化部への加入率は3割程度で、各学校での文化部の活性化が望まれている。 (予算編成 ・活動への取組状況には、学校によって差があり、活動・支援体制が明確でない学校では、活動が停滞している。

県が関与 する理由

成果目標•

事業内容

時)

県関与の必要性あり

【左記の説明、根拠法令等】

全県の活動水準を高めるためには、県が一定の方向を示して継続的な支援をしていく必要がある

① 成果目標(H27)

県民との協働による実施:

・全国大会・ブロック大会出場文化系クラブ数を現状維持する。

検討中

② 事業内容 (単位:千円) H27 H28 実施方法 項目 H27事業実績 (当初) (決算) (当初) ・高校生の文化活動のレベルアップ及び一層の活性 高等学校文化・芸術フェス 負担金 化を図るため、県単位、支部単位の発表会を開催し、 5,000 5,000 5,000 ティバル事業 開催経費の一部を負担 他県との交流を深め、文化活動の向上・活性化を図る ため、全国大会、ブロック大会に出場する生徒の参加 大会生徒派遣事業 交付金 10.260 10,260 10,260 経費の一部を補助 ・高校が学校行事として行う芸術文化鑑賞に要する経 費の一部を助成 直接 1,045 高等学校芸術文化鑑賞事業 1,045 1,045 助成の対象校を小規模校、遠隔地校、定時制・通信 制課程に限定 ・平成30年度の全国高等学校総合文化祭の長野県開 全国高等学校総合文化祭開 催に向けて準備委員会を開催し、各部門の開催地の 直接 4,321 3,973 22,299 催事業 選定や大会の基本方針を検討 高校生ウィーン派遣事業 直接 3,000

	Σ	<u> </u>	分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
]		前年度繰越				
	予質		当初予算	16,900	16,869	20,626	41,604
事類額		補正予算					
業	1,0		合計(A)	16,900	16,869	20,626	41,604
*	*		一般財源	11,900	11,869	15,626	33,592
⊐	Aσ.)	県 債				
7	財派	亰	国庫支出金				
ス		-	その他(宝くじ収入等)	5,000	5,000	5,000	8,012
7	決		算 額(B)	16,900	16,779	20,278	
	概			2.00	2.00	3.00	7.00
	人作	‡費	概算人件費 (C)	16,516	16,516	24,828	57,932
	概算	車	某費(B(A)+C)	33,416	33,295	45,106	99,536

成果目標の達成状況						
項目	H26末 (実績)		H28			
項目		目標	成果	達成状況	目標	
全国大会・ブロック大会 出場文化系クラブ数	15部門	16部門	19部門	達成	19部門	

20,626

20,278

41,604

合計

目標に対 する成果 の状況

全国で上位に入賞した文化クラブが複数あり、全国大会において活躍できる力を付けた専門高校が増加してきている。

2 今後の事業の方向性

今後、事業 をどのよう にしていき たいか

□ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行どおり実施

・文化部の水準を高めたり、専門高校の専門性を深化させたりするために、更に継続的な支援が必要である。

・なお、平成30年度に本県での開催が決定した全国高等学校総合文化祭については、平成28年度は開催2年前に当たることから実行委 員会を設置し、大会の基本方針等を検討していく。